

令和元年度一般会計補正予算などを可決



6月定例会市議会が5月28日～6月14日の18日間の日程で開かれました。

山岸市長は招集あいさつの中で、「10連休中、長尾山総合公園は大変な賑わいとなり、多くの来場者があった。一方、パークアンドライドを実施したが、交通渋滞が発生した。来春、道の駅が整備されることから、交通動態を把握し、パークアンドライドや新たなアクセス道路整備などによる渋滞緩和対策に取り組む必要がある」と述べました。また、日本遺産の認定について、関係機関と協議しながら、一乗谷と平泉寺を結び安波賀街道を復活させたいと話しました。

決まった内容

◆一般会計補正予算

令和元年度の一般会計補正予算が可決されました。主な内容として、各地区の自主活動にかかる施設整備などに対する助成、市民会館・教育会館の設備改修工事、農業関係設備の整備・導入に対する助成、特定空家対策の実施など、一般会計に9238万2千円を増額し、総額は119億3638万2千円となりました。

◆条例

勝山市道の駅「恐竜渓谷かつやま」の設置及び管理に関する条例が制定されました。また、勝山市介護保険条例、勝山市水道水源保護条例が一部改正されました。

◆その他

勝山市固定資産評価委員の選任について同意されました。そのほか、7議案が可決、3議案が承認され、陳情2件のうち1件が採択、1件が不採択となりました。

「地下水」は市民みんなの大切な財産

「井戸」の届出制度およびアンケート調査のお知らせ

勝山市の水道水は「地下水」が水源

勝山市の豊かできれいな地下水は、日常の暮らしのみならず、繊維産業などの生産活動も支えてきました。皆さんが使用している水道水のほとんどは、この地下水を水源としています。地下水は河川水に比べて水質が良いため、飲料水にするコスト(消毒など)が少なく済みます。全国の水道水量のうち、地下水を水源としているものは2割程度なので、勝山市の上水道は大変恵まれた条件にあります。

水道水源保護審議会の設置

勝山市では、昨年(平成30年1月～2月)の記録的な大雪・寒波により、市内の一部地域では長期間、給水制限を行う事態となりました。これを受け、市は昨年9月、勝山市水道水源保護審議会を設置し、安定した水道水の供給と地下水資源の保全のための有効な方策について審議を続けています。

届出のお願いとアンケート調査の実施

そのような中、市内の地下水の利用状況を把握するため、今年6月に勝山市水道水源保護条例を改正し、基準を超える大きさのポンプを使用した井戸については「届出」をお願いすることとなりました。併せて、井戸による地下水利用に関する「アンケート調査」を実施します。市民共有の財産であり、限りある資源である地下水の大切さについてあらためて考えていただき、届出書の提出およびアンケート調査にご理解、ご協力をお願いします。

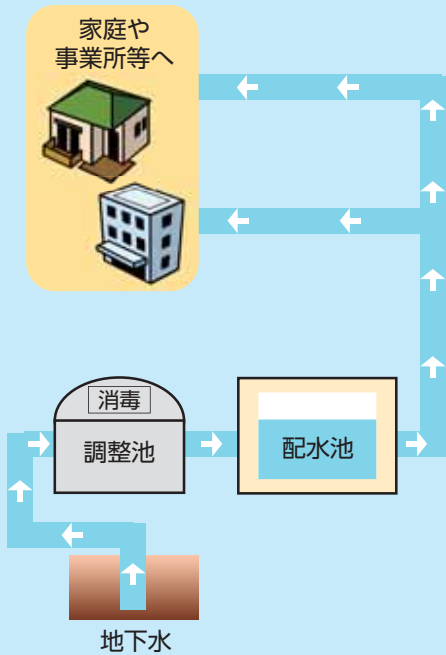
「届出」が必要な井戸

吐出口の大きさ(口径(内径))が40mmを超えるポンプを使っている井戸(同敷地内に2つ以上ある場合はその合計)

※届出書およびアンケートは、8月上旬に市内全戸(アパート、マンション除く)に区長を通じて配布、各事業所などには郵送します

問上下水道課(市民会館2階) ☎88・8109

水道水が届くまで(勝山市)



暑い夏には涼しげな一杯

雪室そば提供店舗ご紹介 7月12日(金)～



問ジオパークまちづくり課 (市役所2階) ☎88-8126



手打ちそば どうせき (元町1) ☎88-0667



食庵 おり田 (毛屋町) ☎87-3737



福彩り食堂 のむら屋 (元町2) ☎88-1392



勝食 (郡町1) ☎88-0519



手打ちそば 八助 (栄町1) ☎88-0516



勝山市雪室ブランド推進会議(旧勝山市雪氷熱エネルギー利用促進協議会)に加盟している店舗で、雪室で貯蔵したそばの実を使った「雪室そば」の提供が始まります。新そばの味わいをそのままに、雪室で寝かせたそばをぜひひとくち賞味ください。なお、各店舗の雪室そば粉がなくなり次第終了となります。



おいしい、ちよ鶴 (本町2) ☎87-2250



めん工房 きふね (旭町2) ☎87-2788



やく志屋 (沢町2) ☎88-0521

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク ジオパーク専門員 町 澄秋

毎年恒例の近隣ジオパークの視察で、今年は、立山黒部ジオパークへ行ってきました。立山黒部ジオパークは、2014年に認定された富山県の東側に位置する富山市・立山町・上町・滑川市・魚津市・黒部市・入善町・朝日町をエリアとするジオパークです。今回は、立山町と上町にある立山の裾野の辺りのジオサイトを中心に見学してきました。立山は、日本の飛騨山脈(北アルプス)北部に位置し、雄山、大汝山、富士ノ折立の3つの峰の総称です。立山は活火山ですが、厳密にいうと、この3峰は火山ではないので、混同を避けるため溶岩台地である弥陀ヶ原台地(標高1600～2000m)の名前をとって弥陀ヶ原火山とも呼ばれます。恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークでは、スキージャム勝山のゲレンデの芳野ヶ原台地が同じ溶岩台地です。立山の火山活動は約22万年前に始まり、現在でも地獄谷周辺で活発な噴気活動があります。立山も富士山や白山と並び、信仰の対象となっており、その拠点の一つが山麓の芦峯寺周辺です。この芦峯寺には立山博物館展示館があり、立山周辺の自然や大地の成り立ち、立山信仰に関する展示が豊富で、このエリアを総合的に学ぶことができます。

第38回 立山黒部ジオパークに行ってきました



問ジオパークまちづくり課(市役所2階) ☎88・8126

弥陀ヶ原台地から称名川が流れ落ちる滝が、落差日本一を誇る称名滝(350m)です。称名滝の展望台は滝壺から約100m離れているのですが、豊富な水量のため、まるで雨のような水しぶきが辺りを覆っており、ダイナミックな光景を目にすることが出来ます。称名川の両側の切り立った崖には、見事な柱状節理があります。この崖は称名滝や称名川が少しずつ台地を削ってきた地形です。一方で、もともとこの谷を埋めていた岩石は、流れによって細かく砕かれて石や砂、泥として運ばれ、谷を出たところで堆積し、現在の富山平野の一部である常願寺川扇状地を形成しています。その平野で、人々は田畑を耕し、作物を得ています。人々の生活の背景にある、大地と水の相互作用を感じられるジオパークです。ぜひ一度足を運んでみてください。

